

たまちゃん通信

平成 30 年 2 月発行 96-1

発行：日本のお手玉の会本部 〒792-0013 愛媛県新居浜市泉池町 10 番 1 号
TEL：0897-32-0302 / FAX：0897-32-0311
e-mail:honbu@otedama.jp URL：http://www.otedama.jp

福岡支部の活動をテレビで紹介

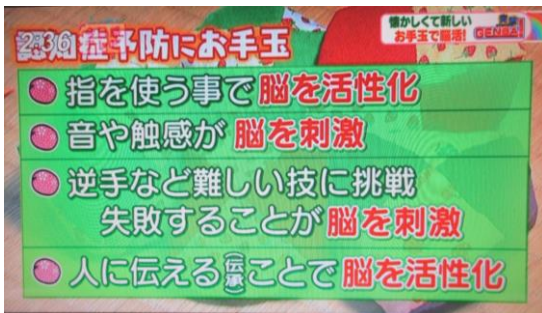
～RKB 毎日放送の「^{きょうかん}今日感テレビ」～



福岡お手玉の会(原妙子会長)は、この1月8日(月)、第16回「新春お手玉遊び初め大会」を児童会館で開催し、翌9日(火)は、高齢者福祉施設のデイサービスセンター「たんぼぼ」を訪問しました。その両方に、地元のテレビ局RKB毎日放送が取材に入りました。

その模様を、テレビ局は、11日(木)、人気番組『今日感(きょうかん)テレビ』で、『懐かしくて新しいお手玉で脳活!!』のタイトルで、お手玉遊び初め大会の子どもたちの対戦の様子や、日本や外国の珍しいお手玉の展示、お手玉の効用を図解した掲示物で解説したり、俵型、ざぶとん型お手玉の作り方も紹介されました。

会員は、長寿美子さんがお手玉の効用を解説、藤井昭子さんが作り方と審判を担当、松本弘子さんが寄せ玉や両手4個ゆりを披露したり、全



員でお手玉演舞や遊び方を、子どもたちやお年寄りに紹介するなどして楽しい時間をすごしました。

また、お手玉が「なぜ、認知症の予防になるのか!」については、国立長寿医療センターが開発した「脳と体を同時に使うことで認知症を予防あるいは改善しようとするプログラム(コグニサイズ)の専門家・杉谷太さんが、次のように話していました。

「お手玉が脳によいことは、すでに実証されている。お手玉をすると脳を使い脳の血流がよくなる。お手玉に触れると感触と音で感覚を刺激する。利き手とは逆の手かで行うと効果が高まる。新しい技に挑戦するとか失敗することで脳を使う。さらに、伝えることで脳が活性化する...といった効果があります」



また、福岡支部元会員の日下部ちづるさんが代表を務める介護施設「たんぼぼ」では、手がマヒしている人のために開発した「細長い俵型お手玉」も紹介されました。

番組の最後に、原会長は、「お手玉を握ったときの温もりは、どのおもちゃにも負けないくらいあたたかい感覚があります。ぜひ、お手玉に触れてください」と結んでいました。

(写真は、すべて RKB 毎日放送のテレビ画面を撮影したものです。)